

会員のみなさまへ

8月11日(土)「かんまき平和のつどい」 9月1日(土)「まほろば平和音楽祭」

今年も2つの企画成功に御協力をお願いいたします

戦後73年目の夏が来ました。“核戦争の危機”が叫ばれていた1年前に比べ、今年の6月には米朝会談が開かれ当面の戦争の危機は回避できたように見えます。米朝宣言の冒頭には「国民の願いに従って、朝鮮半島に平和体制を確立する。」と謳われ、「平和のプロセスの始まり」と位置付けています。

意義深い「始まり」ではありますが、世論の大きな力が無ければ、「核廃絶」も「拉致問題解決」も、その目的に辿り着きません。引き続き、「平和を未来につなぐ」活動を大きくしていきましょう。

「対話には意味がない」と言っていた安倍首相は、いまだに「安倍改憲」を執拗にめざしています。「核軍力による挑発」では平和を切り開けないことが、これほど明白になっても、その主張は降ろしません。

「自衛隊に無制限に海外派兵させる」ことより、平和外交に力を入れることを求めます。

かんまき平和のつどい は、ミッドウエーや南方トラック島での戦闘も体験された元海軍兵・瀧本邦慶さんに語り部になっていただいて「戦争体験を聞く会」を行います。

戦争の事実を多くの人に知ってもらい、その悲惨さと過ちの原因を語りつないでいくことが戦争を回避する最大の力だと考えます。今年は映画がありませんので、本当に口コミで多くの方に参加を呼び掛ける必要があります。ぜひ、多くの方、特に若い世代をもお誘いの上お越し下さい。(入場無料・カンパ歓迎)



瀧本邦慶

96歳
元海軍兵の
遺言

まほろば平和音楽祭

今年のゲストは、私たちには珍しい中国琵琶の名演奏者「葉衛陽・さくら親子」です。多くの賞も受賞されており、感動を呼ぶステージは間違いありません。朗読は上牧町朗読の会で活躍される辻敏子さん。他にも、「菊の会」「ミックスモダン」と上牧の方がしっかり頑張っておられます。多彩な内容でたったの500円。「当日何名参加します。」「声をかけますので、チラシや参加協力券を何枚下さい。」などのご連絡をいただければ幸いです。(代表：芦辺 72-0925)